

かけはし

赤の1組
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea
季節の移り変わりは、人々の生活に影響する

「秋のダイナミックワールド」において、赤の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

おうちの方からいただいた身近な素材を使って、いろいろなものをつくり、遊びが始まってきた子どもたち。サツマイモ掘りや木の実・落ち葉拾いなどの経験、ハロウィンなど季節の行事体験などと繋がって、遊びの中に様々な『秋』が取り入れられていきました。

以下は、10月31日現在の遊びの様子です。これから、どう遊びが発展していくか、「ダイナミック参加」をお楽しみになさってください。

★アイス・ドーナツ屋さんごっこ★

身近な素材を使った自由工作から生まれた遊び。

ペンの方が、よく色がつくね!



素材コーナーから、プチプチ(気泡緩衝材)を見つけ、クレヨンで色をつけ始めた子どもたち。丸めてみると…
「これ、アイスになりそう!」



「ドーナツもつくろう!」保育者と一緒に考え、新聞紙で土台づくり。絵の具で色も塗りました。



「いらっしゃいませ!」
「何味にしますか?」

ペットボトルのふたにドングリを入れたお金も登場。お店屋さんごっこが始まりました。

★おばけのお城★

運動会で使用した風船をつかって遊びだしたことから始まった遊び。



風船をポンポン浮かせて遊んでいた子どもたちから、「風船を入れるところがほしい」との意見が…。



いろいろな大きさの段ボールを用意すると、「つなげるとお城みたい!」画用紙を貼ったり、クレヨンで窓を描いたりしてお城づくり。



「風船に顔を描きたい!これ、おばけみたい!」ハロウィンの時期とも重なり、お城は、おばけ風船の住むお城へ。風船をお城に入れる遊びへと発展。

★お風呂づくり★

おままごとで遊んでいた子どもたちの声から生まれた遊び。



おままごとをしていた子どもたちから、「お風呂がほしい!」という声が…。



大きい段ボールを用意すると、新聞紙をビリビリ破いてお風呂のお湯に見立てて遊びだしました。



「かわいいお風呂にしたい!」水のりを使って周りに包装紙を貼りました。友達と一緒に仲良く入って遊んでいます。

★工事現場ごっこ★

砂遊びから発展していった遊び。



1学期から、砂遊びが大好きな子どもたち。シャベルで道をつくったり、川をつくったり…



「水がうまく流れない…」そこで、素材コーナーにある牛乳パックやペットボトルをつなげて、水の通り道をつくってみることに…



水を流すとドングリも転がるかな?

「なんか、工事現場みたい!」秋の自然物を川に浮かべたりして遊んでいます。

★ドングリゲーム★

身近な素材を使った自由工作から生まれた遊び。



素材コーナーから好きな材料を見つけてきて、長くつなげて遊びだした子どもたち。「この中にドングリ入れたら、転がるかな…」



ドングリが落ちちゃう!ここにも道をつくろう!

“どんなものをどんな風についたら、ドングリが転がるかな…”みんなで考えながら、道づくり。



“どのドングリがよく転がるかな?” “どこの道が転がるかな?”遊びながら、いろいろ試し、発見しています!